

2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330242043A	教職実践演習(幼) Exercise of teaching practice	永津 利衣			2	選択	4後期

科目の概要

本科目では「真心・努力・奉仕・感謝」(DP1)を大切にしながら、自らの可能性を広げ社会的自立に必要な力を総合的に身に付ける(DP5)と共に、幼稚園教諭としての専門的知識・技能を高め(DP3)、職場や地域の課題解決に貢献できる人材を育成(DP6)することを目指す。教職課程の総仕上げとして、教育実習で明らかになった各自の課題と課題解決に向けた取り組みや、これまで教職課程で学んだ専門的な知識・技能の修得状況の確認をしながら、教職に就くためのイメージの具体化を図っていく。協働学習を通じて自らの学びを総括・共有することで、幼稚園教諭としての視野を広げ、実践力を高め、免許授与にふさわしい資質・能力の育成を目指す。

学修内容	到達目標
① 教職に関わる専門的知識・技能について、自らの修得状況を確認する。 ② 教職に関わる具体的・実践的事例について、教育実習の経験も踏まえて理解する。 ③ 「職業としての幼稚園教諭」の在り方について、自らの進路選択を踏まえて改めて省察する。	① 教職に関わる専門的知識・技能の修得状況について確認した上で、自らの課題とその解決策を挙げることができる。 ② 教職に関わる具体的・実践的事例について、教育実習の経験も踏まえて、それらの課題に対する自分なりの解決案を提示することができる。 ③ 自らの進路選択も踏まえて、「職業としての幼稚園教諭」の在り方について、自分の言葉で説明することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	さまざまな課題を通して、これまで学んだ知識を進んで発展させることができる。
	働きかけ力	
	実行力	手順や方法を考えて、確実に課題をやり遂げることができる。
考え抜く力	課題発見力	事実に基づいた情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	自分の課題を解決するために、計画を立てることができる。
	創造力	
チームで働く力	発信力	相手がわかりやすいように、ポイントを整理してまとめることができる。
	傾聴力	他者の意見を受け止め、自分の考えを捉え直すことができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	自分の都合を優先することなく、決められたルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

適宜、プリント配布や資料の提示をする。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：「教育原理」「保育の心理学」「障害児保育」「保育内容」関連「幼児教育指導法」「こどもと環境」「こどもの健康」「こどもと人間関係」「こども言語」「こども表現」「こどもとの計画と評価」「教育実習(幼)」等の専門科目
 資格との関連：幼稚園教諭一種免許状

学修上の助言	受講生とのルール
教職課程の総仕上げとなる科目であるため、授業への取り組みと省察に対する真摯な姿勢を期待する。	科目の性格上、基本的にすべて出席する。ただし、やむを得ない事由による欠席および遅刻・早退等の取り扱いについては、本学の学則等に則って判断する。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験 筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
			②				
			③				
	平常評価	小テスト	0	①			
				②			
				③			
		レポート	50	①		✓	レポート等について、次の観点で評価する。 (獲得) 教育実習の経験も踏まえ、これまでに修得した専門的知識・技能を用いることができる。(20%) (活用) 「職業としての保育者」の在り方について自分の言葉でまとめることができる。(20%) (解決) 保育の現代的課題に対して、協働して知識・技能を総合して解決しようとするすることができる。(60%)
				②		✓	
				③		✓	
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	40	①	✓	発表において、次の観点で評価する。 (獲得) 活動への取り組みと省察がわかりやすく述べられている。(20%) (活用) 省察を基に、課題がわかりやすく述べられている。(20%) (解決) 課題解決に向けた取り組みの過程と結果がわかりやすく述べられている。(60%)			
		②	✓				
		③					
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	(主体性) これまで学んだ知識を進んで発展させることができる。 (実行力) 手順や方法を考えて、確実に課題をやり遂げることができる。 (課題発見力) 事実に基づいた情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。 (計画力) 自分の課題を解決するために、計画を立てることができる。 (発信力) 相手がわかりやすいように、考えを整理して伝えることができる。 (傾聴力) 他者の意見を受け止め、自分の考えを捉え直すことができる。 (規律性) 自分の都合を優先することなく、決められたルールを守ることができる。		
			②	✓			
			③	✓			
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S(秀) レポート、成果発表、社会人基礎力を総合し、90点以上が取得される。 A(優) レポート、成果発表、社会人基礎力を総合し、80～89点が取得される。	B(良) レポート、成果発表、社会人基礎力を総合し、70～79点が取得される。 C(可) レポート、成果発表、社会人基礎力を総合し、60～69点が取得される。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション ・授業の概要、受講に関する注意事項等について。 ・めざす保育者像について考える。	講義・演習 (レポート提出(添削))	めざす保育者像を考えることができる。	(予習) シラバスを読んでき。 (復習) めざす保育者像を考え、レポートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性
2	教育実習を振り返る (1) ・レポートの発表と共有。 ・報告会の構想を練る。	演習 ディスカッション	発表の構想を練ることができる。	(予習) 実習日誌を読んで実習を振り返る。 (復習) 報告会の構想を基にスライド作成する。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性
3	教育実習を振り返る (2) 実習報告会に向け、実践と振り返り等をスライドにまとめる。	演習 ディスカッション (スライド資料提出(添削))	実習についてスライドにまとめることができる。	(予習) 日誌を読んで実習を振り返る。 映像視聴 立命館大「現代に生きる子どもの心理学」 https://lms.gacco.org/courses/course-v1:gacco+gal45+2023_01/ (復習) スライドを完成させる。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性
4	教育実習を振り返る (3) 実習報告会：さまざまな園の特徴や教育方針、他者の実践と学びを共有し、保育観を広げる。	演習・発表 (レポート提出(添削))	さまざまな保育のあり方について知ることができる。	(予習) 発表報告の準備・練習をする。 (復習) 報告を聞いて学びや感想をレポートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性
5	保育者としての課題と成長 (1) 履修カルテ、実習のまとめを基に、自己の強み、保育職に就くに当たっての課題を挙げ、その解決に向けた取り組みについて計画を立てる。 ・グループで計画について検討する。	演習 ディスカッション (レポート提出(添削))	自己の強みと課題をまとめ、ることができる。	(予習) 履修カルテをまとめる。 (復習) 自己課題とその解決へ向けた取り組みについて計画を立てる。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性
6	保育者としての課題と成長 (2) ・課題解決に向け、計画に従って調べたり練習したりする。 ・各自の本時の取り組みを発表し、共有する。	演習 ディスカッション (レポート提出(添削))	自分の課題解決への取り組みについて明らかにすることができる。	(予習) 課題解決に向けて、計画を確認する。 (復習) 課題解決に向けて、練習や資料収集等の取り組みを行う。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性
7	保育実践力の向上 (1) 倫理観～誠実さや公平さ ・事例1についてグループで検討する。	演習 ディスカッション ICTの活用 (NotebookLMを活用し、自分の考えと比較する) (レポート提出(添削))	グループでディスカッションしたことをまとめることができる。	(予習) 配布プリントを読んでき。 (復習) 授業の学びや気づき等をレポートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性
8	保育実践力の向上 (2) 子どもの最善の利益と保護者との関わり ・事例2についてグループで検討する。	演習 ディスカッション (レポート提出(添削))	グループでディスカッションしたことをまとめることができる。	(予習) させる。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	保育実践力の向上 (3) 保育職の社会性、連携・協働 ・事例を通してグループで検討する。	演習 ディスカッション (レポート提出(添削))	グループでディスカッションしたことをまとめることができる。	(予習) 配布プリントを読んでくる。 (復習) 授業の学びや気づき等をレポートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性
10	保育実践力の向上 (4) ・インクルーシブ保育の理念と、発達障害のある子ども、および、診断のつかない子どもとその対応について検討する。	演習 ディスカッション (レポート提出(添削))	グループでディスカッションしたことをまとめることができる。	(予習) 配布プリントを読んでくる。 (復習) 授業の学びや気づき等をレポートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性
11	保育者としての職務 社会人としてのマナー (電話のかけ方など)について学ぶ。	演習 ディスカッション	ロールプレイで実践することができる。	(予習) 清掃の方法について調べてくる。 (復習) 学習したことをレポートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性
12	保育者の専門性の向上 (1) ・遊びを推進する力量の向上(自然環境、遊びの種類など)	演習 ディスカッション (レポート提出(添削))	遊びの方法を工夫して、実践することができる。	(予習) 伝承遊びについて調べてくる。(鬼ごっこ・じゃんけん) (復習) 学習したことをレポートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性
13	保育者の専門性の向上 (2) ・大学附属幼稚園園長先生の講話「職業としての幼稚園教諭の在り方」から学ぶ。 ・質疑応答	演習 ディスカッション (レポート提出(添削))	講話から気づきや学びをまとめ、自分の保育・教育観の参考にすることができる。	(予習) 就職に向けて、園長先生への質問を考える。 (復習) 講話から得られた学びや新たな気づき等をレポートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性
14	保育者の専門性の向上 (3) 課題解決に向けた取り組みの成果をまとめ、発表の準備をする。	演習 ディスカッション (スライド資料提出(添削))	課題解決への自分自身の取り組みを振り返り、成長をまとめることができる。	(予習) 課題解決に向けた練習や学習等の成果をまとめておく。 (復習) 発表シートを完成させる。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性
15	保育者の専門性の向上 (4) 自己課題に対する成長や学びについて発表し、共有する。	演習 ディスカッション (レポート提出(添削))	他者の発表から、新たな知識・技能を吸収することができる。	(予習) 発表練習を行う。 (復習) 他からの発表から得られた学びや、新たな気づき等をレポートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力